

## 4. 過年度調査結果のまとめ

### 後作物における残留農薬の検出

今年度の調査対象となっている農薬について、過年度の後作物における残留農薬の検出状況は表 4-1～表 4-18 に整理したとおりである。

表 4-1-1 アゾキシストロビン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
秋田県農業試験場	ユニフォーム粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回	こまつな (なかまち)	施設 PBI=11日 (溶媒)	上 2.46	上 1.90 下 1.90	上 0.93 (15日後)	上 0.98 下 1.61 (34日後)	<0.01 (34日後)	15
			露地 PBI=11日 (溶媒)	上 3.35	上 1.02 下 1.13	上 0.61 (15日後)	上 0.55 下 0.35 (34日後)	<0.01 (34日後)	
宮城県農業・園芸総合研究所	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1500倍 600L/10a 1回	こまつな (きよすみ)	施設：灌水 PBI=25日 (溶媒)	上 0.62	上 0.53 下 0.02	上 0.45 (15日後)	上 0.36 下 0.11 (28日後)	<0.01 (28日後)	15
			施設：乾燥 PBI=25日 (溶媒)	上 0.56	上 0.49 下 0.02	上 0.22 (15日後)	上 0.27 下 0.13 (28日後)	<0.01 (28日後)	
兵庫県立農林水産技術総合センター	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1000倍 300L/10a 1回	こまつな (ひとみ)	施設 PBI=20日 (溶媒)	上 0.58	上 0.16 下 0.01	上 0.16 (16日後)	上 0.16 下 0.03 (33日後)	<0.01 (33日後)	15
			露地 PBI=20日 (溶媒)	上 0.62	上 0.14 下 0.01	上 0.12 (16日後)	上 0.10 下 0.03 (33日後)	<0.01 (33日後)	
			施設 PBI=20日 (水)	上 0.18	上 0.03 下 <0.01	上 0.02 (16日後)	上 0.02 下 <0.01 (33日後)	—	
			露地 PBI=20日 (水)	上 0.20	上 0.03 下 <0.01	上 0.02 (16日後)	上 0.02 下 <0.01 (33日後)	—	
山口県農林総合技術センター	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1000倍 300L/10a 1回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=15日 (溶媒)	上 1.34	上 0.64 下 0.44	上 0.74 下 0.36 (15日後)	上 0.65 下 0.31 (29日後)	<0.01 (29日後)	15
			施設：乾燥 PBI=15日 (溶媒)	上 1.16	上 0.58 下 0.30	上 0.72 下 0.30 (15日後)	上 0.66 下 0.44 (29日後)	<0.01 (29日後)	
			施設：灌水 PBI=15日 (水)	上 0.32	上 0.11 下 0.07	上 0.10 下 0.06 (15日後)	上 0.05 下 0.10 (29日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15日 (水)	上 0.24	上 0.10 下 0.07	上 0.10 下 0.04 (15日後)	上 0.09 下 0.07 (29日後)	—	
香川県農業試験場	アミスター20 フロアブル (20.0%) 2000倍 600L/10a 1回	こまつな (楽天)	施設：灌水 PBI=30日 (溶媒)	上 0.57	上 0.14 下 0.09	上 0.09 (14日後)	上 0.10 (34日後)	<0.01 (34日後)	15
			施設：乾燥 PBI=30日 (溶媒)	上 0.82	上 0.13 下 0.10	上 0.08 (14日後)	上 0.11 (34日後)	<0.01 (34日後)	
			施設：灌水 PBI=30日 (水)	上 0.08	上 <0.02 下 <0.02	上 <0.02 (14日後)	上 <0.02 (34日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=30日 (水)	上 0.12	上 0.02 下 0.02	上 <0.02 (14日後)	上 <0.02 (34日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-1-3 アゾキシストロビン（平成 29 年度）

(調査年度) 調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
(H29 年度) 高知県農業技 術センター	アミスター-20 フロアブル(20%) 2000 倍、300L/10a 3 回	こまつな (よかった菜)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.22 下 0.24	上<0.15 (15 日後)	上<0.12 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	15
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.02 下 0.03	上 0.02 (15 日後)	上 0.01 (28 日後)		
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.30	上 0.24	上 0.16 (15 日後)	上 0.15 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	
			PHI=7 日 (水)	上 0.02	—	—	—		

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

—：測定未実施

表 4-2 アミスルプロム

年 度	調査実施 機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品 種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-3 イプロジオン

年 度	調査実施 機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品 種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-4-1 イミダクロプリド（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直 後	作付け時 (播種時)	作付け 後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
栃木県農業 試験場	アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、300L/10a の 2 倍量 1 回	ほうれんそう (ミラージュ)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.24	上 0.08 下 0.09	上 0.07 下 0.08 (15 日後)	上 0.04 下 0.08 (49 日後)	<0.01 (49 日後)	15
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.12 下 0.11	上 0.10 下 0.11 (15 日後)	上 0.06 下 0.05 (49 日後)	<0.01 (49 日後)	
愛知県農業 総合試験場	アドマイヤー 顆粒水和剤 5000 倍、300L/10a の 2 倍量 1 回	こまつな (夏楽天)	施設 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.40	上 0.26 下 0.16	上 0.24 (19 日後)	上 0.20 下 0.23 (33 日後)	0.02 (33 日後)	5
			露地 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.41	上 0.22 下 0.07	上 0.20 (19 日後)	上 0.18 下 0.19 (33 日後)	0.01 (33 日後)	
			施設 PBI=27 日 (水)	上 0.31	上 0.15	上 0.08 (19 日後)	上 0.08 (33 日後)	—	
山口県農林 総合技術セ ンター	アドマイヤー フロアブル (20%) 1000 倍、300L/10a 1 回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 1.15	上 0.50 下 0.38	上 0.61 下 0.26 (15 日後)	上 0.43 下 0.22 (29 日後)	0.09 (29 日後)	5
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 1.05	上 0.48 下 0.26	上 0.58 下 0.23 (15 日後)	上 0.46 下 0.30 (29 日後)	0.08 (29 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.79	上 0.33 下 0.24	上 0.31 下 0.18 (15 日後)	上 0.12 下 0.12 (29 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.55	上 0.29 下 0.18	上 0.24 下 0.12 (15 日後)	上 0.22 下 0.12 (29 日後)	—	
香川県農業 試験場	アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、600L/10a 1 回	こまつな (楽天)	施設：灌水 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.28	上 0.10 下 0.08	上 0.09 (14 日後)	上 0.09 (34 日後)	0.02 (34 日後)	5
			施設：乾燥 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.42	上 0.14 下 0.10	上 0.08 (14 日後)	上 0.09 (34 日後)	0.02 (34 日後)	
			施設：灌水 PBI=30 日 (水)	上 0.13	上 0.03 下 0.03	上 0.03 (14 日後)	上 0.03 (34 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=30 日 (水)	上 0.18	上 0.06 下 0.04	上 0.03 (14 日後)	上 0.03 (34 日後)	—	

—土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-4-2 イミダクロプリド（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
栃木県農業 試験場	アドマイヤー水和 剤 (10.0%) 2000 倍、300L/10a 3 回	ほうれんそう (PBI=1 日)	ミラージュ	上 0.20 下 0.16	—	上 0.09 下 0.06 (15 日後)	上 0.08 下 0.04 (51 日後)	<0.01 (51 日後)	15
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	アドマイヤー顆粒 水和剤(50%) 5000 倍・300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	ひとみ	上 0.76 下 0.01	—	0.26 (13 日後)	0.28 (26 日後)	0.08 (26 日後)	5
高知県農業 技術センター	アドマイヤーフロ アブル(20%) 2,000 倍・300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	夏楽天	0.88	上 0.36 下 0.40	0.31 (7 日後) 0.26 (13 日後) 0.24 (19 日後)	0.10 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。  
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-4-3 イミダクロプリド（平成 27 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
徳島県	アドマイヤーフ ロアブル (20.0%) 2000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	いなむら	0.46	上 0.29 下 0.20	0.16	0.04	5
		こまつな (PBI=20 日)		0.56	上 0.14 下 0.07	0.08	0.02	
		こまつな (PBI=36 日)		0.71	上 0.16 下 0.12	0.08	0.01	
		こまつな (PBI=62 日)		0.68	上 0.12 下 0.08	0.06	0.02	

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-4-4 イミダクロプリド（平成 22 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H22	宮城県農業・園芸 研究所	アドマイヤー フロアブル(20%) 4000倍 300L/10a	-	コマツナ露地火山灰		0.31	0.42	<0.01	5
				コマツナ露地沖積土		0.25	0.16	<0.01	
				ハウレンソウ露地火山灰		0.31	0.42	<0.01	15
				ハウレンソウ露地沖積土		0.25	0.16	<0.01	
	東京都農 林総合研 究センタ ー	アドマイヤー 一颗粒水和 剤(50%) 5000倍・ 300L/10a	-	コマツナ 露地		0.80	0.62	5	5
				カブ 露地		0.78	0.65	葉 2.8 根 0.4	葉 3
	大阪府環 境農林総 合研究所	アドマイヤー 一颗粒水和 剤(50%) 4000倍 300L/10a	-	コマツナ 施設 (薬剤処理 1日)		0.6	1.0	0.05	5
				シュンギク 施設 (薬剤処理 1日)		0.5	0.5	0.09	3
	奈良県農 業総合セ ンター	アドマイヤー 一颗粒水和 剤(50%) 10000倍 300L/10a	-	ハウレンソウ 施設		0.43	0.18	0.01	15
				シュンギク 施設				0.04	3
		アドマイヤー フロアブル (20%) 4000倍 300L/10a	-	ハウレンソウ 施設		0.33	0.21	0.01	15
				シュンギク 施設				0.04	3
徳島県立 農林水産 総合技術 支援セン ター	アドマイヤー 一颗粒水和 剤(50%) 10000倍 300L/10a	-	コマツナ露地		0.18	0.12	0.02	5	
			チンゲンサイ露地				<0.02	5	
			ハウレンソウ露地				0.04	15	

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

表 4-4-5 イミダクロプリド（平成 17～22 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H22	高知県農業技術センター	アドマイヤー顆粒水和剤（50%） 5000 倍 300L/10a	-	コマツナ露地		1.0	0.39	0.034	5
				チンゲンサイ露地				0.011	5
				ハウレンソウ露地				0.050	15
H21	青森県農林総合研究センター	アドマイヤーフロアブル (20.0%) 4000 倍 300L/10a	ハウレンソウ	コマツナ施設 (薬剤処理 11 日)		0.39	0.11	<0.01	5
	東京都農林総合研究センター	アドマイヤー 1 粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	キュウリ露地 (薬剤処理 37 日)		1.54	0.72	<0.05	1
H20	東京都農林総合研究センター	アドマイヤー 1 粒剤 (1.0%) 6kg/10a	ミズナ	コマツナ（早期区）		-	0.34	<0.05	5
				コマツナ（遅延区）			0.50	<0.05	
H19	栃木県農業試験場	アドマイヤーフロアブル (20%) 4000 倍 300L/10a	スイートコーン	ハウレンソウ		-	0.2	<0.01	15
	東京都農林総合研究センター		コマツナ	ダイコン		2.6	0.55	つまみ菜 <0.01 間引き菜 <0.01 根部 <0.005 葉部 <0.01	根 0.4 葉 4
H17	岡山県	粒剤		ハクサイ		-	-	-	0.5
		フロアブル				-	-	-	
	高知県	粒剤		キュウリ		-	-	-	1
		粒剤水和剤				-	-	-	

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

表 4-5-1 クロチアニジン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
宮城県農業・園 芸総合研究所	ダントツ水溶剤 (16.0%) 2000倍 600L/10a 1回	こまつな (きよすみ)	施設：灌水 PBI=25日 (溶媒)	上 0.47	上 0.14 下 0.02	上 0.22 (15日後)	上 0.20 下 0.03 (28日後)	0.06 (28日後)	10
			施設：乾燥 PBI=25日 (溶媒)	上 0.32	上 0.28 下 <0.01	上 0.13 (15日後)	上 0.13 下 0.03 (28日後)	0.06 (28日後)	
高知県農業技 術センター	ダントツ水溶剤 (16.0%) 1000倍 300L/10a 1回	こまつな (よかつた菜)	施設：灌水 PBI=14日 (溶媒)	上 1.41	上 0.42	上 0.40 (14日後)	上 0.34 (27日後)	0.06 (27日後)	10
			施設：乾燥 PBI=14日 (溶媒)	上 1.55	上 0.62	上 0.48 (14日後)	上 0.38 (27日後)	0.09 (27日後)	
			施設：灌水 PBI=14日 (水)	上 1.16	上 0.31 下 0.34	上 0.34 (14日後)	上 0.34 (27日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=14日 (水)	上 1.10	上 0.41 下 0.30	上 0.44 (14日後)	上 0.19 (27日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-5-2 クロチアニジン（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
愛知県農業 総合試験場	ダントツ水溶剤 (16%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 0.35 下 0.01	—	0.27 (15日後)	0.09 (26日後) 0.06 (32日後)	0.12 (26日後) 0.09 (32日後)	10
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	いなむら	0.42	上 0.34 下 0.30	0.32 (7日後) 0.24 (13日後) 0.20 (22日後)	0.16 (29日後)	0.03 (29日後)	10

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。  
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-5-3 クロチアニジン（平成 27 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	愛知県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈 300L/10a 3 回	こまつな (PBI=4 日)	夏楽天	0.18	上 0.21 下 0.01	0.14	0.10	10
			こまつな (PBI=17 日)		0.20	上 0.10 下 0.04	0.07	0.06	
			こまつな (PBI=31 日)		0.16	上 0.06 下 0.02	0.04	0.03	
			こまつな (PBI=63 日)		0.16	上 0.04 下 0.02	0.04	0.03	
	京都府農林 水産技術セ ンター	ダントツ 粒剤 (0.50%) 6kg/10a 1 回	こまつな (PBI=1 日)	菜々美	0.44	上 0.32 下 0.06	0.26	0.020	10
			こまつな (PBI=14 日)		0.38	上 0.45 下 0.09	0.26	0.014	
			こまつな (PBI=28 日)		0.18	上 0.28 下 0.08	0.20	0.011	
			こまつな (PBI=60 日)		0.24	上 0.24 下 0.16	0.20	0.017	
	兵庫県	ダントツ 粒剤 (0.50%) 6kg/10a 1 回	しゅんぎく (PBI=1 日)	株張中葉	未測定	上 0.48 下 <0.01	0.04	0.01	10
			しゅんぎく (PBI=14 日)		0.19	上 0.10 下 <0.01	0.04	0.01	
			しゅんぎく (PBI=28 日)		0.38	上 0.14 下 <0.01	0.10	0.01	
			しゅんぎく (PBI=60 日)		0.40	上 0.31 下 0.01	0.08	0.02	
	香川県農業 試験場	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈 300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	楽天	未測定	0.83	0.37	0.07	10
			こまつな (PBI=14 日)		0.92	上 0.32 下 0.02	0.23	0.06	
			こまつな (PBI=28 日)		0.84	上 0.21 下 0.01	0.21	0.06	
			こまつな (PBI=60 日)		0.66	上 0.18 下 <0.01	0.20	0.04	
高知県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈 300L/10a 3 回	しゅんぎく (PBI=1 日)	きわめ中葉 春菊	0.60	未測定	0.18	0.04	10	
		しゅんぎく (PBI=15 日)		0.61	上 0.23 下 0.24	0.10	0.04		
		しゅんぎく (PBI=28 日)		0.54	上 0.12 下 0.19	0.12	0.02		
		しゅんぎく (PBI=60 日)		0.48	上 0.11 下 0.10	0.07	0.02		
熊本県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈 300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	みなみ	0.65	上 0.38 下 0.22	0.28	0.01	10	
		こまつな (PBI=15 日)		0.72	上 0.36 下 0.18	0.27	0.01		
		こまつな (PBI=28 日)		0.71	上 0.32 下 0.28	0.18	0.01		
		こまつな (PBI=60 日)		0.61	上 0.20 下 0.10	0.22	0.01		

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。



表 4-5-4 クロチアニジン（平成 25 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物 <sup>※1,2</sup>	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度 <sup>※3</sup>
H25	愛知県農業総合試験場	ダントツ水和剤 (16%) 慣行量区： 2,000倍， 1/3量区： 6,000倍， 1/5量区： 1,000倍， 300L/10a	なし	コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 26 日）	よかった 菜	0.58	上 0.73 下 0.18	0.20	
				コマツナ（1/3 量 処理区）（薬剤処 理 26 日）			上 0.21 下 0.05		0.05
				コマツナ（1/5 量 処理区）（薬剤処 理 26 日）			上 0.04 下 0.04		
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 26 日）	菜々 子	0.58	上 0.73 下 0.18	0.19	
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 26 日）	菜々 美		上 0.73 下 0.18		0.20
	京都府農林水産技術センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 慣行量区： 6kg/10a， 1/3量区：， 2kg/10a， 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	よかった 菜	0.90	上 0.22 下 0.02	0.08	
				コマツナ（1/3 量 処理区）（薬剤処 理 27 日）			上 0.22 下 0.02		0.02
				コマツナ（1/5 量 処理区）（薬剤処 理 27 日）			上 0.07 下 0.01		
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	楽天	0.90	上 0.22 下 0.02	0.06	
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	菜々 美		上 0.22 下 0.02		0.06
	山口県農林総合技術センター	ダントツ水和剤 (16%) 慣行量： 2,000倍 300L/10a	なし	ホウレンソウ（慣 行量処理区）（薬 剤処理 92 日）	サマ ーズ	0.35	上 0.48 下 0.14	0.16	
				ホウレンソウ （1/3 量処理区） （薬剤処理 92 日）			上 0.18 下 0.05		0.04
				ホウレンソウ （1/5 量処理区） （薬剤処理 92 日）			上 0.10 下 0.02		
				ホウレンソウ（慣 行量処理区）（薬 剤処理 92 日）	ハン ター	0.18	上 0.20 下 0.03	0.12	
				ホウレンソウ（慣 行量処理区）（薬 剤処理 92 日）	クロ ーネ		上 0.20 下 0.03		0.12
徳島県立農林水産総合技術支援センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 慣行量区： 6kg/10a， 1/3量区：， 2kg/10a， 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	よかった 菜	0.20	上 0.18 下 0.18	0.03		
			コマツナ（1/3 量 処理区）（薬剤処 理 27 日）			上 0.06 下 0.04		0.01	
			コマツナ（1/5 量 処理区）（薬剤処 理 27 日）			上 0.04 下 0.02			<0.01
			コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	みな み	0.20	上 0.18 下 0.18	0.01		
			コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	いな むら		上 0.18 下 0.18		0.01	

表 4-5-5 クロチアニジン（平成 18～24 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3
H24	京都府農林 水産技術セ ンター	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 45 日）	耐病ひかり	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 40
				カブ（遅延区） （薬剤処理 125 日）	耐病ひかり	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 134 日）	真紅金時	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 2
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 190 日）	真紅金時	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
	兵庫県立農 林水産技術 総合センタ ー	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 49 日）	CR もちばな	-	上 0.320 下 <0.005	根 <0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 40
				カブ（遅延区） （薬剤処理 103 日）	CR もちばな	-	上 0.154 下 0.007	根 <0.01 葉 0.04	
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 117 日）	向陽二号	-	上 0.192 下 <0.005 0.005	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 2
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 175 日）	向陽二号	-	上 0.143 下 <0.005 0.007	根 <0.01 葉 <0.01	
	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター農業 研究所	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ（シルト質埴壌土） （早期区）（薬剤処理 46 日）	CR もちばな	-	上 0.17 下 0.12	根 0.02 葉 0.07	根 0.5 葉 40
				カブ（シルト質埴壌土） （遅延区）（薬剤処理 96 日）	CR もちばな	-	上 0.05 下 0.04	根 <0.02 葉 <0.02	
				カブ（砂土）（早期区） （薬剤処理 46 日）	CR もちばな	-	上 0.25 下 0.14	根 0.04 葉 0.12	
				カブ（砂土）（遅延区） （薬剤処理 74 日）	CR もちばな	-	上 0.06 下 0.06	根 0.02 葉 0.06	
H22	高知県農業 技術センタ ー	ダントツ水溶 剤（16%） 2000 倍×3 回 300 L/10a	なし	コマツナ 露地	夏楽天	0.76	0.28	0.049	10
				チンゲンサイ 露地	長陽			0.017	10
				ハウレンソウ 露地	ニューアン ナ R4			0.064	40
	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター農業 研究所	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 露地	はっけい	0.52	0.21	0.06	10
				チンゲンサイ 露地	青冨			0.04	10
				ハウレンソウ 露地	ビジョン			0.15	40
H21	高知県農業 技術センタ ー	ダントツ粒剤 (0.5%) 2,222 kg/10a ダントツ水和 剤（20%） 2000 倍×3 回 300L/10a	キュウ リ	コマツナ 施設	夏楽天	1.2	0.59	0.051	10
H19	香川県 農業試験場	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	ハウレンソウ	強力オーラ イ	0.8	0.08	0.01	40
	奈良県農業 総合センタ ー	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	コマツナ	楽天	0.56	0.07	<0.01	10
				ミズナ	ジャキサラ 水菜			<0.01	10
				シュンギク	株張り中 葉新菊			<0.01	10
H18	奈良県農業 総合センタ ー	クロチアニジ ン粒剤 6kg/10a	ネギ	シュンギク	株張り中 葉新菊		0.38	0.21	10

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

表 4-6-1 クロラントラニリプロール（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
長野県農業試験場	ブレバソフロアブル 5 (5.0%) 2000 倍 300L/10a 1 回	ほうれんそう (日本ほうれん そう)	施設 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.23	上 0.10 下 0.21	上 0.06 (15 日後)	上 0.05 下 0.06 (37 日後)	<0.01 (37 日後)	20
			露地 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.10 下 0.04	上 0.09 (15 日後)	上 0.05 下 0.06 (37 日後)	<0.01 (37 日後)	
愛知県農業総合試験場	ブレバソフロアブル 5 (5.0%) 2000 倍 300L/10a の 2 倍量 1 回	こまつな (夏楽天)	施設 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.12	上 0.10 下 0.07	上 0.09 (19 日後)	上 0.09 下 0.10 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	20
			露地 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.12	上 0.07 下 0.03	上 0.08 (19 日後)	上 0.07 下 0.06 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	
			施設 PBI=27 日 (水)	上 0.06	上 0.04	上 0.02 (19 日後)	上 0.02 (33 日後)	—	
大阪府立環境農林水産総合研究所	ブレバソフロアブル 5 (5.0%) 1000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (わかみ)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.19	上 0.12 下 0.02	上 0.03 下<0.01 (14 日後)	上 0.08 下 0.02 (33 日後)	0.02 (33 日後)	20
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.16 下 0.05	上 0.07 下 0.02 (14 日後)	上 0.08 下 0.02 (33 日後)	0.02 (33 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.06	上 0.03 下<0.01	上<0.01 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.07	上 0.04 下 0.01	上 0.02 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	—	
高知県農業技術センター	ブレバソフロアブル 5 (5.0%) 500 倍 300L/10a 1 回	こまつな (よかった菜)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.05	上 0.44	上 0.35 (14 日後)	上 0.34 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	20
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.16	上 0.52	上 0.40 (14 日後)	上 0.40 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	
			施設：灌水 PBI=14 日 (水)	上 0.44	上 0.15 下 0.16	上 0.14 (14 日後)	上 0.20 (27 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=14 日 (水)	上 0.38	上 0.18 下 0.11	上 0.16 (14 日後)	上 0.09 (27 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-6-2 クロラントラニリプロール（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率・ 希釈倍率・ 処理量)	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
長野県農業試験場	プレバソフロア ブル 5 (5.0%) 2000 倍 300L/10a 3 回	ほうれんそう (ノーベル)	PHI=1 日 (溶媒)	上 0.14	上 0.11 下 0.08	上 0.11 (15 日後)	上 0.13 (47 日後)	<0.01 (47 日後)	20
			PHI=21 日 (溶媒)	上 0.08	上 0.06 下 0.08	上 0.06 (15 日後)	上 0.06 (47 日後)	<0.01 (47 日後)	
愛知県農業総合試験場	プレバソフロア ブル 5 (5.0%) 2000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (夏楽天)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.21 下 0.01	上 0.20 下 <0.01 (16 日後)	上 0.16 (27 日後)	0.01 (27 日後)	20
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.10	—	—		
			PHI=15 日 (溶媒)	上 0.22	上 0.14 下 <0.01	上 0.13 下 <0.01 (16 日後)	上 0.24 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	
			PHI=15 日 (水)	—	上 0.06	—	—		
兵庫県立農林水産技術総合センター	プレバソフロア ブル 5 (5.0%) 1000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (ひとみ)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.28 下 <0.01	上 0.31 (14 日後)	上 0.10 (27 日後)	0.01 (27 日後)	20
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.16 下 <0.01	上 0.16 (14 日後)	上 0.08 下 0.02 (27 日後)		
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.28 下 0.01	上 0.32 (14 日後)	上 0.16 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	
			PHI=7 日 (水)	上 0.16	上 0.18 下 <0.01	上 0.30 (14 日後)	上 0.13 下 0.01 (27 日後)		
山口県農林総合技術センター	プレバソフロア ブル 5 (5.0%) 1000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (夏楽天)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.72 下 0.15	上 0.64 (14 日後)	上 0.40 下 0.04 (28 日後)	0.01 (28 日後)	20
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.21 下 0.06	上 0.16 (14 日後)	上 0.08 下 <0.01 (28 日後)		
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.64	上 0.56 下 0.32	上 0.56 (14 日後)	上 0.42 下 0.12 (28 日後)	0.01 (28 日後)	
			PHI=7 日 (水)	上 0.28	上 0.16 下 0.06	上 0.12 (14 日後)	上 0.10 下 0.03 (28 日後)		

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

—：測定未実施

表 4-7-1 クロルフェナピル（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
秋田県農業試験場	コテツフロアブル (10%) 2000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (なかまち)	施設 PBI=11 日 (溶媒)	上 0.32	上 0.09 下 0.04	上 0.06 (15 日後)	上 0.10 下 0.07 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	5
			露地 PBI=11 日 (溶媒)	上 0.49	上 0.14 下 0.11	上 0.08 (15 日後)	上 0.11 下 0.07 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	
長野県農業試験場	コテツフロアブル (10%) 1000 倍 150L/10a 1 回	ほうれんそう (日本ほうれん そう)	施設 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.46	上 0.17 下 0.12	上 0.17 (15 日後)	上 0.12 下 0.18 (37 日後)	<0.01 (37 日後)	5
			露地 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.53	上 0.18 下 0.13	上 0.14 (15 日後)	上 0.11 下 0.07 (37 日後)	<0.01 (37 日後)	
香川県農業試験場	コテツフロアブル (10%) 2000 倍 600L/10a 1 回	こまつな (楽天)	施設：灌水 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.35	上 0.17 下 0.14	上 0.14 (14 日後)	上 0.15 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	5
			施設：乾燥 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.49	上 0.16 下 0.12	上 0.10 (14 日後)	上 0.12 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	
			施設：灌水 PBI=30 日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (14 日後)	上<0.01 (34 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=30 日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (14 日後)	上<0.01 (34 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-7-2 クロルフェナピル（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
長野県農業試験場	コテツフロアブル (10%) 2000 倍 150L/10a 3 回	ほうれんそう (ノーベル)	PHI=1 日 (溶媒)	上 0.25 下 0.13	上 0.17 下 0.14	上 0.18 下 0.15 (15 日後)	上 0.14 下 0.13 (47 日後)	<0.01 (47 日後)	5
			PHI=21 日 (溶媒)	上 0.12 下 0.03	上 0.14 下 0.12	上 0.17 下 0.10 (15 日後)	上 0.16 下 0.08 (47 日後)	<0.01 (47 日後)	
香川県農業試験場	コテツフロアブル (10%) 2000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (楽天)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.28 下 0.17	上 0.26 (14 日後)	上 0.34 (29 日後)	<0.005 (29 日後)	5
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.08 下<0.02	上<0.02 (14 日後)	上<0.02 (29 日後)	<0.005 (29 日後)	
			PHI=14 日 (溶媒)	上 0.34 下 0.04	上 0.22	上 0.28 (14 日後)	上 0.31 (29 日後)	<0.005 (29 日後)	
			PHI=14 日 (水)	上<0.02 下<0.02	上<0.02	上<0.02 (14 日後)	上<0.02 (29 日後)	<0.005 (29 日後)	

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-7-3 クロルフェナピル（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)			後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)	
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後			収穫時
兵庫県立農林水産技術総合センター	コテツフロアブル(10%) 2000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	ひとみ	上 0.50 下 0.01	—	0.28 (13 日後)	0.34 (26 日後)	<0.01 (26 日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-7-4 クロルフェナピル（平成 18～20 年度）

年度	調査実施機関	試験条件				土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度			
H20	京都府 農業総 合研究 所	コテツフ ロアブル (10%) 2000 倍 300L/10a	ねぎ	こまつな	—	耕起区 0.20 不耕起区 0.21	耕起区	<0.01	5	
				みずな	—		0.10～0.12 不耕起区		<0.01	10
				はたけ菜	—		0.13～0.19		<0.01	10
H19	徳島県 立農林 水産総 合技術 支援セ ンター	コテツ 水和剤 (10%) 2000 倍 200L/10a	こまつな	ほうれんそう	—	0.04	0.03	<0.03	3	
H18	埼玉県 農林総 合研究 センタ ー	水和剤 15g/10a	こまつな	ほうれんそう	—	—	0.13	<0.01	3	

表 4-8-1 クロルフルアズロン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
宮城県農業・園 芸総合研究所	アタブロン乳剤 (5.0%) 2000倍600L/10a 1回	こまつな (きよすみ)	施設：灌水 PBI=25日 (溶媒)	上 0.08	上 0.06 下<0.01	上 0.05 (15日後)	上 0.05 下 0.02 (28日後)	<0.01 (28日後)	2
			施設：乾燥 PBI=25日 (溶媒)	上 0.11	上 0.05 下<0.01	上 0.07 (15日後)	上 0.05 下 0.04 (28日後)	<0.01 (28日後)	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-8-2 クロルフルアズロン（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
山口県農林総 合技術センタ ー	アタブロン乳剤 (5.0%) 2000倍300L/10a 3回	こまつな (夏楽天)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 0.18 下 0.04	上 0.20 (14日後)	上 0.14 下 0.04 (28日後)	<0.01 (28日後)	2.0
			PHI=1日 (水)	(同右)	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (14日後)	上<0.01 下<0.01 (28日後)		
			PHI=7日 (溶媒)	上 0.18	上 0.18 下 0.06	上 0.16 (14日後)	上 0.14 下 0.04 (28日後)	<0.01 (28日後)	
			PHI=7日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (14日後)	上<0.01 下<0.01 (28日後)		

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-8-3 クロルフルアズロン（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
徳島県立農林水 産総合技術支 援センター	アタブロン乳 剤(5%) 2000倍 ・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	いなむら	0.22	上 0.11 下 0.06	0.10 (7日後) 0.12 (13日後) 0.14 (22日後)	0.11 (29日後)	<0.01 (29日後)	2

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。  
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-9-1 ジノテフラン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
大阪府立環境 農林水産総合 研究所	アルバリン顆粒 水溶剤 (20.0%) 2000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (わかみ)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.41	上 0.14 下 <0.01	上 <0.01 下 <0.01 (14 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (33 日後)	0.05 (33 日後)	10
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.38	上 0.18 下 0.05	上 0.06 下 <0.01 (14 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (33 日後)	0.12 (33 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.22	上 0.05 下 <0.01	上 <0.01 下 <0.01 (14 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (33 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.20	上 0.06 下 0.02	上 0.02 下 <0.01 (14 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (33 日後)	—	
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	スタークル顆粒 水溶剤 (20.0%) 1000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (よかつた菜)	施設 PBI=34 日 (溶媒)	上 0.38 下 <0.01	上 0.20 下 0.15	上 0.16 下 0.06 (14 日後)	上 0.18 下 0.02 (34 日後)	0.35 (34 日後)	10
			露地 PBI=34 日 (溶媒)	上 0.38 下 <0.01	上 0.15 下 0.07	上 0.07 下 0.04 (14 日後)	上 0.01 下 <0.01 (41 日後)	0.03 (41 日後)	
			施設 PBI=34 日 (水)	上 0.45 下 <0.01	上 0.19 下 0.16	上 0.19 下 0.07 (14 日後)	上 0.24 下 <0.01 (34 日後)	—	
			露地 PBI=34 日 (水)	上 0.45 下 <0.01	上 0.15 下 0.07	上 0.07 下 0.04 (14 日後)	上 0.01 下 <0.01 (41 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-9-2 ジノテフラン（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
地方独立行政 法人 北海道 立総合研究機 構	スタークル粒剤 (1%) 12kg/10a 1 回	こまつな (PBI=0 日)	よかつた菜	1.60	—	0.28 (14 日後)	0.36 (26 日後)	0.46 (26 日後)	10
宮城県農業・ 園芸総合研究 所	Dr. オリゼスターク ル箱粒剤 (2.0%) 28g/m <sup>2</sup> 1 回	こまつな (PBI=1 日)	きよすみ	4.30	—	2.32 (14 日後)	1.66 (29 日後)	0.14 (29 日後)	10
香川県農業 試験場	アルバリン顆粒水 溶剤 (20.0%) 2000 倍・300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	楽天	上 0.44 下 0.24	—	0.17 (14 日後)	0.34 (24 日後)	0.26 (24 日後)	10

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。  
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。



表 4-9-3 ジノテフラン（平成 27 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物残留濃度(mg/kg)	残留基準値(mg/kg)
		供試農薬(有効成分率)希釈倍率・処理量	供試作物(試験区)	品種	最終処理後	作付け時(は種時)	収穫時		
H27	北海道立総合研究機構	スタークル顆粒水溶剤(20.0%) 240倍 3L/m <sup>2</sup> 1回	こまつな(PBI=0日)	よかつた菜	未測定	—※	—※	—※	10
			こまつな(PBI=15日)		—※	—※	—※		
			こまつな(PBI=27日)		—※	—※	—※		
			こまつな(PBI=61日)		—※	—※	—※		
	宮城県	アルバリン顆粒水溶剤(20.0%) 2,000倍, 300L/10a 3回	こまつな(PBI=1日)	きよすみ	未測定	上 0.87 下<0.01	0.63	0.03	10
			こまつな(PBI=14日)		0.95	上 0.87 下<0.01	0.71	0.01	
			こまつな(PBI=28日)		0.96	上 0.78 下<0.01	0.74	0.03	
			こまつな(PBI=62日)		0.88	上 0.76 下<0.01	0.78	0.02	
	愛知県	アルバリン顆粒水溶剤(20.0%) 2,000倍, 300L/10a 3回	こまつな(PBI=4日)	夏楽天	0.24	上 0.14 下 0.04	0.02	0.08	10
			こまつな(PBI=17日)		0.20	上 0.02 下 0.04	<0.01	0.02	
			こまつな(PBI=31日)		0.20	上 0.01 下 0.02	<0.01	0.02	
			こまつな(PBI=63日)		0.18	上<0.01 下<0.01	<0.01	0.01	
	京都府農林水産技術センター	スタークル粒剤(1.0%) 6kg/10a 1回	こまつな(PBI=1日)	菜々美	0.38	上 0.37 下<0.01	0.08	0.11	10
			こまつな(PBI=14日)		0.74	上 0.40 下 0.01	0.06	0.06	
			こまつな(PBI=28日)		0.70	上 0.48 下<0.01	0.10	0.05	
			こまつな(PBI=60日)		0.80	上 0.40 下 0.04	0.05	0.07	
山口県農林総合技術センター	スタークル顆粒水溶剤(20.0%) 2000倍 300L/10a 3回	こまつな(PBI=1日)	夏楽天	未測定	上 0.52 下 0.04	0.31	0.58	10	
		こまつな(PBI=14日)		0.64	上 0.42 下 0.06	0.26	0.62		
		こまつな(PBI=28日)		0.52	上 0.26 下 0.09	0.22	0.58		
		こまつな(PBI=60日)		0.28	上 0.25 下 0.14	0.16	0.32		

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。  
 ※良好な回収率が得られなかった等の理由から信頼性のある分析値が得られなかった。

表 4-9-4 ジノテフラン（平成 25 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H25	北海道立 総合研究 機構中央 農業試験 場	スタークル 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a, 1/3量区： 2kg/10a, 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 30 日）	よかった菜	0.48	0.33	0.38	10
				コマツナ（1/3量処 理区）（薬剤処理 30 日）		0.12	0.20	0.09	
				コマツナ（1/5量処 理区）（薬剤処理 30 日）		0.04	0.08	0.04	
				コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 30 日）	CR 緑郷 EX	0.48	0.33	0.28	
				コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 30 日）	浜ちゃん	0.48	0.33	0.28	
	宮城県農 業園芸総 合研究所	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 慣行量区： 2,000倍, 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行 量処理区）（薬剤処理 41日）	サマーズ	1.56	上 1.52 下 0.10	0.27	15
				ハウレンソウ（1/3 量処理区）（薬剤処理 41日）		0.81	上 0.83 下 0.10	0.25	
				ハウレンソウ（1/5 量処理区）（薬剤処理 41日）		0.48	上 0.48 下 0.12	0.23	
				ハウレンソウ（慣行 量処理区）（薬剤処理 41日）	クロノス	-	-	0.35	
				ハウレンソウ（慣行 量処理区）（薬剤処理 41日）	スーパー アリーナ	-	-	0.23	
愛知県農 業総合試 験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 慣行量区： 2,000倍, 1/3量区： 6,000倍, 1/5量区： 10,000倍, 300L/10a	なし	コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 26 日）	よかった菜	0.48	上 0.53 下 0.15	0.06	10	
			コマツナ（1/3量処 理区）（薬剤処理 26 日）		0.12	上 0.16 下 0.04	0.04		
			コマツナ（1/5量処 理区）（薬剤処理 26 日）		0.06	上 0.04 下 0.04	0.02		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 26 日）	菜々子	0.48	上 0.53 下 0.15	0.06		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 26 日）	菜々美	0.48	上 0.53 下 0.15	0.05		
京都府農 林水産技 術センタ ー	アルバリン 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a, 1/3量区： 2kg/10a, 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 27 日）	よかった菜	1.18	上 0.46 下 0.03	0.22	10	
			コマツナ（1/3量処 理区）（薬剤処理 27 日）		0.54	上 0.20 下 0.05	0.04		
			コマツナ（1/5量処 理区）（薬剤処理 27 日）		0.22	上 0.06 下 0.02	0.04		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 27 日）	楽天	1.18	上 0.46 下 0.03	0.18		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 27 日）	菜々美	1.18	上 0.46 下 0.03	0.27		

表 4-9-5 ジノテフラン（平成 25 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H25	地方独立 行政法人 大阪府立 環境農林 水産総合 研究所	アルバリン 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a, 1/3 量区：, 2k g/10a, 1/5 量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 35 日）	よかった菜	0.878	上 0.294 下 0.054	0.120	10
				コマツナ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 35 日）		0.489	上 0.186 下 0.056	0.064	
				コマツナ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 35 日）		0.324	上 0.130 下 0.052	0.068	
				コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 35 日）	ひとみ	0.878	上 0.294 下 0.054	0.170	
				コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 35 日）	楽天	0.878	上 0.294 下 0.054	0.125	
	兵庫県農林 水産技術総 合センター	アルバリン 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a 1/3 量区： 2k g/10a 1/5 量区： 1.2kg/10a	なし	ハウレンソウ（慣行 量処理区）（薬剤処理 31 日）	サマーズ	0.53	上 0.44 下 <0.01	0.03	15
				ハウレンソウ（1/3 量処理区）（薬剤処理 31 日）		0.18	上 0.12 下 <0.01	<0.01	
				ハウレンソウ（1/5 量処理区）（薬剤処理 31 日）		0.12	上 0.06 下 <0.01	<0.01	
				ハウレンソウ（慣行 量処理区）（薬剤処理 30 日）	ミラージュ	0.52	上 0.37 下 <0.01	0.03	
				ハウレンソウ（慣行 量処理区）（薬剤処理 34 日）	サマースカ イ R7	0.56	上 0.44 下 <0.01	0.02	
徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター	スタークル 粒剤 (1.0%) 慣行量： 6kg/10a, 1/3 量区：, 2k g/10a, 1/5 量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 27 日）	よかった 菜	1.45	上 0.41 下 0.37	0.04	10	
			コマツナ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 27 日）		0.13	上 0.10 下 0.06	0.02		
			コマツナ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 27 日）		0.10	上 0.05 下 0.05	0.01		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 27 日）	みなみ	1.45	上 0.41 下 0.37	0.09		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 27 日）	いなむら	1.45	上 0.41 下 0.37	0.14		
高知県農業 技術センタ ー	スタークル 顆粒水和剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 32 日）	よかった 菜	0.32	上 0.12 下 0.14	0.03	10	
			コマツナ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 32 日）		0.11	上 0.07 下 0.06	0.02		
			コマツナ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 32 日）		0.08	上 0.04 下 0.04	0.01		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 32 日）	極楽天	0.32	上 0.12 下 0.14	0.02		
			コマツナ（慣行量処 理区）（薬剤処理 32 日）	夏楽天	0.32	上 0.12 下 0.14	0.02		

表 4-9-6 ジノテフラン（平成 24 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H24	愛知県農業総合試験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 43 日）	耐病ひかり	-	0.62	根 0.04 葉 0.20	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 160 日）	耐病ひかり		0.08	根 <0.01 葉 0.02	
				ハツカダイコン（早期区） （薬剤処理 29 日）	コメット		0.28	根 0.10 葉 0.54	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン（遅延区） （薬剤処理 119 日）	コメット		0.04	根 0.02 葉 0.20	
		アルバリン 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 50 日）	耐病ひかり		0.51	根 0.02 葉 0.14	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 167 日）	耐病ひかり		0.04	根 0.01 葉 0.03	
				ハツカダイコン（早期区） （薬剤処理 36 日）	コメット		0.48	根 0.10 葉 0.88	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン（遅延区） （薬剤処理 126 日）	コメット		0.09	根 0.02 葉 0.30	
	京都府農林水産技術センター	スタークル 顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 45 日）	耐病ひかり		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 125 日）	耐病ひかり		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 0.02	
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 134 日）	真紅金時		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.01	根 1 葉 5
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 190 日）	真紅金時		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01	
山口県農林総合技術センター	スタークル 水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 52 日）	耐病ひかり		上 0.13 下 0.16	根 <0.01(0.008) 葉 0.04	根 0.5 葉 5	
			カブ（遅延区） （薬剤処理 92 日）	耐病ひかり		上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01(0.007)		
			ニンジン（早期区） （薬剤処理 120 日）	向陽二号		上 0.13 下 0.16	根 <0.01(0.005) 葉 0.03	根 1 葉 5	
			ニンジン（遅延区） （薬剤処理 181 日）	向陽二号		上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.008 (0.004)		
香川県農業試験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 58 日）	たかね		0.14	根 <0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5	
			カブ（遅延区） （薬剤処理 99 日）	たかね		<0.01	根 <0.01 葉 <0.01		
			ハツカダイコン（早期区） （薬剤処理 47 日）	コメット		0.14	根 0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 10	
			ハツカダイコン（遅延区） （薬剤処理 89 日）	コメット		<0.01	根 <0.01 葉 0.01		

表 4-9-7 ジノテフラン（平成 23 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	高知県 農業技術 センター	スタークル 粒剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	カブ (葉) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン	0.82	上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.5 葉 5
				カブ (葉) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.008)	
				カブ (根) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.006)	
				カブ (根) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.001)	
				ニンジン (葉) (早期 区) (薬剤処理 85 日)	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	0.02	根 1 葉 5
				ニンジン (遅延区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	0.01	
				ニンジン (根) (早期 区) (薬剤処 85 日)	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.003)	
				ニンジン (根) (遅延 区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.003)	
				コマツナ (早期区) (薬剤処理 41 日)	夏楽天		上 0.21 下 0.26	0.03	10
				コマツナ (遅延区) (薬剤処理 74 日)	夏楽天		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.006)	
	スタークル 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ (葉) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン	1.2	上 0.25 下 0.28	0.05	根 0.5 葉 5	
			カブ (葉) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.06 下 0.14	0.01		
			カブ (根) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン		上 0.25 下 0.28	0.01		
			カブ (根) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.005)		
			ニンジン (葉) (早期 区) (薬剤処理 85 日)	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	0.03	根 1 葉 5	
			ニンジン (遅延区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	0.02		
			ニンジン (根) (早期 区) (薬剤処 85 日)	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	<0.01 (0.006)		
			ニンジン (根) (遅延 区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.004)		
			コマツナ (早期区) (薬剤処理 41 日)	夏楽天		上 0.25 下 0.28	0.06	10	
			コマツナ (遅延区) (薬剤処理 74 日)	夏楽天		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.007)		
香川県農 業試験場	アルバリン 顆粒水和剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	コマツナ (早期区) (薬剤処理 32 日)	楽天	0.78	0.16	0.18	10	
			コマツナ (遅延区) (薬剤処理 92 日)	楽天		<0.01 (0.00 3)	0.02		
			チンゲンサイ (早期 区) (薬剤処理 37 日)	青帝		0.16	0.12	10	
			チンゲンサイ (遅延 区) (薬剤処理 98 日)	青帝		<0.01 (0.00 3)	0.01		
			ハウレンソウ (早期 区) (薬剤処理 42 日)	おかめ		0.16	0.08	15	
			ハウレンソウ (遅延 区) (薬剤処理 108 日)	おかめ		<0.01 (0.00 3)	<0.01 (0.004)		

表 4-9-8 ジノテフラン（平成 23 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	大阪府 環境農林水 産総合研究 所	アルバリン 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	コマツナ（早期区） （薬剤処理 42 日）	ひとみ	-	0.51	0.14	10
				コマツナ（遅延区） （薬剤処理 89 日）	ひとみ	-	<0.01	<0.05	
				シロナ（早期区） （薬剤処理 42 日）	しらさぎ 菜	-	0.51	<0.05	10
				シロナ（遅延区） （薬剤処理 89 日）	しらさぎ 菜	-	<0.01	<0.05	
				シュンギク（早期区） （薬剤処理 51 日）	菊次郎	-	0.51	0.11	20
				シュンギク（遅延区） （薬剤処理 105 日）	菊次郎	-	<0.01	<0.05	
	京都府農林 水産技術セ ンター	スタークル 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	小カブ(根)（早期区） （薬剤処理 56 日）	耐病ひかり	1.08	上 0.59 下 0.09	<0.01 (0.008)	根 0.5 葉 5
				小カブ(根)（遅延区） （薬剤処理 133 日）	耐病ひかり		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01 (0.007)	
				小カブ(葉)（早期区） （薬剤処理 56 日）	耐病ひかり		上 0.59 下 0.09	0.05	
				小カブ(葉)（遅延区） （薬剤処理 133 日）	耐病ひかり		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	0.02	根 1 葉 5
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 125 日）	真紅金時		上 0.59 下 0.09	0.01, <0.01	
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 213 日）	真紅金時		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01	
	岐阜県 農業技術セ ンター	スタークル 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	ハウレンソウ（早期 区）（薬剤処理 49 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.12	15
				ハウレンソウ（遅延 区）（薬剤処理 78 日）		-	上 0.04 下 0.04	0.03	
				カブ（葉）（早期区） （薬剤処理 63 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.06	根 0.5 葉 5
				カブ（葉）（遅延区） （薬剤処理 93 日）		-	上 0.04 下 0.04	0.02	
				カブ（根）（早期区） （薬剤処理 63 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.01, <0.01	
				カブ（根）（遅延区） （薬剤処理 93 日）		-	上 0.04 下 0.04	<0.01	根 0.5 葉 10
				ダイコン（葉）（早期 区）（薬剤処理 77 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.03	
				ダイコン（葉）（遅延 区）（薬剤処理 105 日）		-	上 0.04 下 0.04	0.02	
				ダイコン（根）（早期 区）（薬剤処理 77 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.01	
				ダイコン（根）（遅延 区）（薬剤処理 105 日）		-	上 0.04 下 0.04	<0.01	

表 4-9-9 ジノテフラン（平成 20～23 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	宮城県農業・園芸総合研究所	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	コマツナ（早期区） （薬剤処理 42 日）	なかまち	0.31	0.24	<0.02	10
				コマツナ（遅延区） （薬剤処理 62 日）	なかまち		0.27	<0.02	
				ミズナ（早期区） （薬剤処理 43 日）	京みぞれ		0.24	0.03	10
				ミズナ（遅延区） （薬剤処理 78 日）	京みぞれ		0.27	0.03	
				ハウレンソウ（早期区） （薬剤処理 52 日）	スーパーアリーナ		0.24	<0.02	15
				ハウレンソウ（遅延区） （薬剤処理 78 日）	スーパーアリーナ		0.27	<0.02	
H22	熊本県農業研究センター	スタークル顆粒水溶剤（20%） 2000 倍 300 L /10a	なし	ハウレンソウ 露地	アトラス	0.90	0.50	0.04	15
				コマツナ 露地	楽天	0.90	0.29	0.05	10
				非結球レタス 露地	晩抽レッドファイアー	1.09	0.49	0.07	10
	山口県農林総合技術センター	アルバリン顆粒水溶剤（20%） 2000 倍 300 L /10a	なし	コマツナ	夏楽天	0.37	0.74	0.52	10
				リーフレタス	レッドファイヤー W	0.48	0.68	0.39	25
H21	日本植物防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 9kg/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30 日)	楽天	4.99	0.04	0.08	10
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58 日)	楽天	4.99	<0.01	0.06	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90 日)	楽天	4.99	<0.01	0.04	
				カブ 露地 (薬剤処理 30 日)	スワン	4.99	0.02	葉 0.28 根 0.06	葉 5 根 0.5
				カブ 露地 (薬剤処理 58 日)	スワン	4.99	<0.01	葉 0.12 根 0.03	
				カブ 露地 (薬剤処理 90 日)	スワン	4.99	<0.01	葉 0.04 根 0.02	
	熊本県農業研究センター	スタークル顆粒水溶剤 (20%) 400 倍 0.4L/m <sup>2</sup> +2000 倍 300 L /10a	コネギ	ハウレンソウ施設 (薬剤処理 10 日)	アトラス	4.33	1.22	0.18	15
				ハウレンソウ施設 (薬剤処理 17 日)	アトラス	4.33	1.33	0.2	
H20	日本植物防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14 日)	オーライ	1.96	0.1	0.04	15
				ハウレンソウ (薬剤処理 28 日)	オーライ	1.96	0.05	0.02	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42 日)	オーライ	1.96	0.04	0.01	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58 日)	オーライ	1.96	0.02	<0.01	
	徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ	タキノード 7	0.44	0.01	<0.02	15

表 4-9-10 ジノテフラン（平成 19 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H19	日本植物 防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 1g/株	ピーマン	ハウレンソウ (耕起区)	マグワイヤ ー	0.46	0.67	0.02	15
				ハウレンソウ (不耕起)	マグワイヤ ー	0.34	0.75	0.04	
	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ネギ	小夏	0.346	0.021	<0.01	15

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の( )内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 4-10-1 ピメトロジン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	チェス顆粒水和 剤(50%) 2500倍300L/10a 1回	こまつな (ひとみ)	施設 PBI=20日 (溶媒)	上0.41	上0.16 下<0.01	上0.14 (16日後)	上0.16 下0.01 (33日後)	<0.01 (33日後)	0.3
			露地 PBI=20日 (溶媒)	上0.32	上0.08 下0.01	上0.16 (16日後)	上0.08 下0.01 (33日後)	<0.01 (33日後)	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-10-2 ピメトロジン（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	チェス顆粒水和 剤(50%) 5000倍、300L/10a 3回	こまつな (ひとみ)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上0.34 下<0.01	上0.30 (14日後)	上0.21 下0.01 (27日後)	<0.01 (27日後)	15
			PHI=7日 (溶媒)	上0.20	上0.28 下<0.01	上0.29 (14日後)	上0.26 下<0.01 (27日後)	<0.01 (27日後)	

作付け時土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。



表 4-11-1 ピリダリル（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
愛知県農業総合試験場	プレオフロアブル (10%) 1000倍 300L/10a 3回	こまつな (夏楽天)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 0.66 下 0.01	上 0.50 下 0.01 (16日後)	上 0.32 (27日後)	<0.01 (27日後)	15
			PHI=1日 (水)	(同右)	上<0.009	—	—		
			PHI=15日 (溶媒)	上 0.50	上 0.31 下<0.01	上 0.32 下 0.01 (16日後)	上 0.60 (27日後)	<0.01 (27日後)	
			PHI=15日 (水)	—	上<0.009	—	—		
京都府農林水産技術センター	プレオフロアブル (10%) 1000倍 300L/10a 3回	こまつな (菜々美)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 0.54 下<0.01	上 0.87 (15日後)	上 0.78 (29日後)	<0.01 (29日後)	15
			PHI=30日 (溶媒)	上 0.52	上 0.32 下<0.01	上 0.34 (15日後)	上 0.38 (29日後)	<0.01 (29日後)	

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。  
—：測定未実施

表 4-12 スルフルファミド

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-13-1 フルフェノクスロン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
愛知県農業総合試験場	カスケード乳剤 (10.0%) 2000倍、300L/10a の2倍量 1回	こまつな (夏楽天)	施設 PBI=27日 (溶媒)	上 0.22	上 0.18 下 0.12	上 0.14 (19日後)	上 0.13 下 0.16 (33日後)	<0.01 (33日後)	10
			露地 PBI=27日 (溶媒)	上 0.24	上 0.10 下 0.03	上 0.12 (19日後)	上 0.11 下 0.06 (33日後)	<0.01 (33日後)	
			施設 PBI=27日 (水)	上<0.01	上<0.01	上<0.01 (19日後)	上<0.01 (33日後)	—	
大阪府立環境農林水産総合研究所	カスケード乳剤 (10.0%) 2000倍、300L/10a 1回	こまつな (わかみ)	施設：灌水 PBI=15日 (溶媒)	上 0.21	上 0.15 下 0.04	上 0.08 下<0.01 (14日後)	上 0.10 下 0.01 (33日後)	<0.01 (33日後)	10
			施設：乾燥 PBI=15日 (溶媒)	上 0.18	上 0.10 下 0.01	上 0.10 下<0.01 (14日後)	上 0.13 下 0.03 (33日後)	<0.01 (33日後)	
			施設：灌水 PBI=15日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 下<0.01 (14日後)	上<0.01 下<0.01 (33日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 下<0.01 (14日後)	上<0.01 下<0.01 (33日後)	—	
兵庫県立農林水産技術総合センター	カスケード水和剤 (10.0%) 1000倍、300L/10a 1回	こまつな (ひとみ)	施設 PBI=20日 (溶媒)	上 0.32	上 0.12 下<0.01	上 0.16 (16日後)	上 0.16 下 0.02 (33日後)	<0.01 (33日後)	10
			露地 PBI=20日 (溶媒)	上 0.33	上 0.13 下 0.01	上 0.16 (16日後)	上 0.22 下 0.03 (33日後)	<0.01 (33日後)	
			施設 PBI=20日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (16日後)	上<0.01 下<0.01 (33日後)	—	
			露地 PBI=20日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (16日後)	上<0.01 下<0.01 (33日後)	—	
山口県農林総合技術センター	カスケード水和剤 (10.0%) 1000倍、300L/10a 1回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=15日 (溶媒)	上 0.56	上 0.35 下 0.22	上 0.44 下 0.20 (15日後)	上 0.34 下 0.16 (29日後)	<0.01 (29日後)	10
			施設：乾燥 PBI=15日 (溶媒)	上 0.52	上 0.35 下 0.18	上 0.44 下 0.19 (15日後)	上 0.36 下 0.24 (29日後)	<0.01 (29日後)	
			施設：灌水 PBI=15日 (水)	上<0.02	上<0.02 下<0.02	上<0.02 下<0.02 (15日後)	上<0.02 下<0.02 (29日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15日 (水)	上<0.02	上<0.02 下<0.02	上<0.02 下<0.02 (15日後)	上<0.02 下<0.02 (29日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-13-2 フルフェノクスロン（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
高知県農業技 術センター	カスケード乳剤 (10.0%) 1000 倍、300L/10a 1 回	こまつな (よかった菜)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.71	上 0.40	上 0.26 (14 日後)	上 0.18 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	10
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.82	上 0.40	上 0.36 (14 日後)	上 0.24 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	
			施設：灌水 PBI=14 日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (14 日後)	上<0.01 (27 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=14 日 (水)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (14 日後)	上<0.01 (27 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-13-3 フルフェノクスロン（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
高知県農業技 術センター	カスケード乳剤 (10%) 2000 倍、300L/10a 3 回	こまつな (よかった菜)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.12 下 0.12	上 0.06 (15 日後)	上 0.05 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	10
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (15 日後)	上<0.01 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.16	上 0.14	上 0.10 (15 日後)	上 0.08 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	
			PHI=7 日 (水)	上<0.01	—	—	—	—	

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

—：測定未実施

表 4-14-1 フルベンジアミド（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	フェニックス顆 粒水和剤(20%) 1000倍300L/10a 1回	こまつな (よかつた菜)	施設 PBI=34日 (溶媒)	上 0.48 下 0.08	上 0.20 下 0.16	上 0.30 下 0.16 (14日後)	上 0.06 下 0.14 (34日後)	<0.01 (34日後)	25
			露地 PBI=34日 (溶媒)	上 0.48 下 0.08	上 0.28 下 0.24	上 0.46 下 0.29 (14日後)	上 0.31 下 0.26 (41日後)	<0.01 (41日後)	
			施設 PBI=34日 (水)			上 0.09 下 0.06 (14日後)	上 0.04 下 0.04 (34日後)	—	
			露地 PBI=34日 (水)		上 0.05 下 0.03	上 0.13 下 0.10 (14日後)	上 0.10 下 0.07 (41日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-14-2 フルベンジアミド（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	フェニックス顆 粒水和剤(20%) 2000倍300L/10a 3回	こまつな (ひとみ)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 0.49 下 0.01	上 0.58 (14日後)	上 0.20 (27日後)	<0.01 (27日後)	25
			PHI=1日 (水)	(同右)	上 0.15 下 <0.01	上 0.14 (14日後)	上 0.08 下 0.02 (27日後)		
			PHI=7日 (溶媒)	上 0.31	上 0.48 下 0.02	上 0.53 (14日後)	上 0.28 (27日後)	<0.01 (27日後)	
			PHI=7日 (水)	上 0.11	上 0.15 下 <0.01	上 0.14 (14日後)	上 0.16 下 0.01 (27日後)		
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	フェニックス顆 粒水和剤(20%) 2000倍300L/10a 3回	こまつな (よかつた菜)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 0.34 下 0.36	上 0.32 (14日後)	上 0.30 (27日後)	<0.01 (27日後)	25
			PHI=1日 (水)	(同右)	上 0.10	上 0.09 (14日後)	上 0.08 (27日後)		
			PHI=14日 (溶媒)	上 0.20	上 0.23 下 0.23	上 0.22 (14日後)	上 0.20 (27日後)	<0.01 (27日後)	
			PHI=14日 (水)	上 0.07	上 0.07	上 0.07 (14日後)	上 0.05 (27日後)		

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-15-1 プロシミドン（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
栃木県農業 試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 1000倍、300L/10a 3回	ほうれんそう (PBI=1日)	ミラージュ	上 4.62 下 2.86	—	上 1.86 下 0.85 (15日後)	上 1.55 下 0.55 (51日後)	0.10 (51日後)	5
愛知県農業総 合試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 1000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 2.76 下 0.02	—	3.80 (15日後)	2.42 (26日後) 2.42 (32日後)	0.79 (26日後) 1.00 (32日後)	5
高知県農業 技術センター	スミレックス水和剤 (50.0%) 1,000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	3.28	上 1.72 下 1.72	0.11 (7日後) 0.06 (13日後) 0.06 (19日後)	0.05 (33日後)	<0.01 (33日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。  
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-15-2 プロシミドン（平成 27 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	宮城県	スミレックス水和剤 (50.0%) 1,000倍 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	きよすみ	未測定	上 3.92 下 0.02	上 3.25 下 0.07	0.44	5
			こまつな (PBI=14日)		上 3.64 下 0.02	上 4.32 下 0.01	上 4.08 下 0.07	0.48	
			こまつな (PBI=28日)		上 3.56 下 0.01	上 3.08 下 0.01	上 3.31 下 0.01	0.26	
			こまつな (PBI=62日)		上 4.00 下 0.01	上 3.73 下 0.01	上 3.64 下 0.05	0.45	
	長野県 農業試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 1,000倍 300L/10a 3回	ほうれんそう (PBI=1日)	日本ほうれん草	未測定	上 1.24 下 0.84	0.04	<0.01	5
			ほうれんそう (PBI=21日)		3.38	上 0.08 下 0.06	0.06	<0.01	
			ほうれんそう (PBI=35日)		3.38	上 0.08 下 0.06	0.06	<0.01	
			ほうれんそう (PBI=68日)		3.46	上<0.01 下 0.02	0.05	<0.01	

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

表 4-15-3 プロシミドン（平成 25 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度		
H25	宮城県 農業園芸 総合研究 所	スマレック ス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 1000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 41 日）	サマーズ	4.08	上 4.31 下 0.02	1.24
				ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 41 日）		1.99	上 1.66 下 0.01	0.22
				ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 41 日）		0.98	上 1.04 下 <0.01 (0.004)	0.15
				ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 41 日）	クロノス	4.08	上 4.31 下 0.02	0.82
				ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 41 日）	スーパー アリーナ	4.08	上 4.31 下 0.02	0.64
	埼玉県 農林総 合研究 センタ ー	スマレック ス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 2000倍 1/3 量区： 6000倍 1/5 量区： 10000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 37 日）	サマーズ	3.64	上 1.35 下 0.78	0.12
				ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 37 日）		0.98	上 0.48 下 0.21	0.02
				ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 37 日）		0.52	上 0.36 下 0.11	0.01
				ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 42 日）	トリトン	3.64	上 1.35 下 0.78	0.06
				ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 35 日）	プリウス アーリー7	3.64	上 1.35 下 0.78	0.1
	長野県 農業試 験場	スマレック ス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 1000倍 1/3 量区： 3000倍 1/5 量区： 5000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 39 日）	サマーズ	1.22	上 0.92 下 0.62	<0.01
				ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 39 日）		0.56	上 0.31 下 0.24	<0.01
ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 39 日）				0.53		上 0.22 下 0.15	<0.01	
ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 40 日）				スーパー アリーナ7	1.22	上 0.92 下 0.62	<0.01	
ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 40 日）					0.56	上 0.31 下 0.24	<0.01	
ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 40 日）					0.53	上 0.22 下 0.15	<0.01	
ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 40 日）				プリウス アーリー7	1.22	上 0.92 下 0.62	<0.01	
ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 40 日）					0.56	上 0.31 下 0.24	<0.01	
ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 40 日）	0.53	上 0.22 下 0.15	<0.01					
岐阜県 農業技 術セン ター	スマレック ス水和剤 (50%) 慣行量区： 1,000倍 1/3 量区： 3,000倍 1/5 量区： 5,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 82 日）	サマーズ	2.96	上 1.70 下 1.46	0.22	
			ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 82 日）		1.22	上 0.42 下 0.46	0.02	
			ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 82 日）		0.63	上 0.20 下 0.20	<0.01	
			ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 83 日）	スーパー アリーナ7	2.96	上 1.70 下 1.46	0.13	
			ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 83 日）	ハンター	2.96	上 1.70 下 1.46	0.22	
奈良県 農業総 合セン ター	スマレック ス水和剤 (50%) 慣行区： 1000倍 1/3 量区： 3000倍 1/5 量区： 5000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 36 日）	サマーズ	3.37	上 1.98 下 0.27	0.08	
			ハウレンソウ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 36 日）		1.12	上 1.08 下 0.03	0.05	
			ハウレンソウ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 36 日）		0.60	上 0.54 下 0.02	0.03	
			ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 36 日）	アンナ	3.37	上 1.98 下 0.27	0.08	
			ハウレンソウ（慣行量処 理区）（薬剤処理 36 日）	ミラージュ	3.37	上 1.98 下 0.27	0.15	

表 4-15-4 プロシミドン（平成 25 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H24	岐阜県 農業技術センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50 日)	白盃	-	上 1.46 下 1.46	根 0.18 葉 1.20	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 163 日)	白盃	-	上 0.78 下 0.84	根 0.01 葉 0.04	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 30 日)	コメット	-	上 1.46 下 1.46	根 0.48 葉 4.10	根 0.5 葉 5
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 113 日)	コメット	-	上 0.78 下 0.84	根 <0.01 葉 <0.01	
	大阪府 立環境農林水産総合研究所	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 63 日)	耐病ひかり	-	上 3.33 下 2.58	根 0.26 葉 0.94	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 128 日)	耐病ひかり	-	上 0.20 下 0.06	根 <0.01 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 105 日)	時無五寸	-	上 3.33 下 2.58	根 0.42 葉 0.22	根 0.5 葉 5※3
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 156 日)	時無五寸	-	上 0.20 下 0.06	根 0.01 葉 0.01	
	兵庫県 立農林水産技術総合センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	CR もちばな	-	上 2.060 下 0.024	根 0.01 葉 0.17	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 103 日)	CR もちばな	-	上 1.472 下 0.012	根 <0.01 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 117 日)	向陽二号	-	上 1.822 下 0.009	根 0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5※3
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 175 日)	向陽二号	-	上 1.166 下 0.008	根 <0.01 葉 <0.01	
奈良県 農業総合センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50 日)	耐病ひかり	-	上 1.41 下 0.14	根 0.14 葉 0.26	根 0.5 葉 5	
			カブ(遅延区) (薬剤処理 105 日)	耐病ひかり	-	上 1.96 下 0.01, <0.01	根 0.08 葉 0.32		
			ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 50 日)	コメット	-	上 1.41 下 0.14	根 0.19 葉 1.45	根 0.5 葉 5	
			ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 105 日)	コメット	-	上 1.96 下 0.01, <0.01	根 0.10 葉 0.85		
H23	熊本県 農業研究センター	スミレックス水和剤 (50%) 1,000倍 300L/10a	なし	ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 40 日)	アトラス	4.04	上 2.00 下 1.90	0.02	5
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 63 日)	アトラス		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n. d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40 日)	楽天		上 2.00 下 1.90	0.03	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 55 日)	楽天		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n. d.)	
				コネギ(早期区) (薬剤処理 80 日)	鴨頭ねぎ		上 2.00 下 1.90	0.05	5
				コネギ(遅延区) (薬剤処理 63 日)	鴨頭ねぎ		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n. d.)	

表 4-15-5 プロシミドン（平成 21～23 年度）

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	長野県農 業試験場	スミレック ス水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a	なし	ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 56 日)	オータム	上 1.77 下 0.40	上 0.36	<0.01 (n. d.)	5
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 125 日)	オータム		下 0.27	<0.01 (n. d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40 日)	照彩		上 0.25	<0.01 (n. d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 125 日)	照彩		下 0.38	0.01	
				リーフレタス(早期区) (薬剤処理 55 日)	アーリー インパルス		上 0.36	<0.01 (n. d.)	5
				リーフレタス(遅延区) (薬剤処理 117 日)	アーリー インパルス		下 0.29	<0.01 (n. d.)	
H22	栃木県 農業試験 場	スミレック ス水和剤 (50%) 1000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 露地	照彩	2.45	3.96	0.11	5
				ホウレンソウ 露地	アトラス	2.87	3.97	0.03	5
H21	埼玉県 農林総合 研究セン ター	スミレック ス水和剤 (50%) 1000 倍 100 L/10a	ナス	シュンギク露地 (早期区・マルチ)	おきく 3 号	-	0.18	0.02	5
				シュンギク露地 (遅延区・マルチ)	おきく 3 号	-	0.12	0.01	
				シュンギク露地 (遅延区・無被覆)	おきく 3 号	-	0.12	0.06	
	栃木県 農業試験 場	スミレック ス水和剤 (50%) 2000 倍 150 L/10a	トマ ト	シュンギク施設 (早期区)	きわめ中葉	1.19	0.48	0.02	5
シュンギク施設 (遅延区)				きわめ中葉	1.19	0.36	0.01		

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の( )内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。



表 4-16-1 プロベナゾール（平成 29 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
栃木県農業試験場	オリゼメート粒剤 (8%) 6 kg/10a 1回	ほうれんそう (ミラージュ)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 8.12 下 9.74	上 7.02 下 7.50 (15 日後)	上 5.17 下 5.26 (50 日後)	0.03 (50 日後)	0.1
			PHI=14 日 (溶媒)	上 9.90 下 9.20	上 8.33 下 8.16	上 6.53 下 6.91 (15 日後)	上 4.80 下 4.86 (50 日後)	0.02 (50 日後)	

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-16-2 プロベナゾール（平成 28 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
宮城県農業・園芸総合研究所	Dr. オリゼスター ークル箱粒剤 (25.0%) 28g/m <sup>2</sup> 1回	こまつな (PBI=1 日)	きよすみ	109.8	—	66.6 (14 日後)	23.4 (29 日後)	<0.01 (29 日後)	0.1

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-17-1 ポスカリド (平成 30 年度)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
栃木県農業試験場	カンタスドライフロアブル(50.0%) 1000倍, 300L/10a の2倍量 1回	ほうれんそう (ミラージュ)	施設: 灌水 PBI=14日 (溶媒)	上 5.42	上 3.36 下 4.06	上 3.12 下 3.05 (15日後)	上 1.16 下 1.38 (49日後)	0.23 (49日後)	2
			施設: 乾燥 PBI=14日 (溶媒)	上 6.18	上 4.59 下 4.42	上 3.30 下 3.13 (15日後)	上 1.26 下 1.33 (49日後)	<0.01 (49日後)	
徳島県立農林水産総合技術支援センター	カンタスドライフロアブル(50.0%) 500倍, 300L/10a 1回	こまつな (よかった菜)	施設 PBI=34日 (溶媒)	上 2.42 下 0.37	上 1.03 下 0.74	上 0.92 下 0.70 (14日後)	上 0.68 下 0.60 (34日後)	0.14 (34日後)	40
			露地 PBI=34日 (溶媒)	上 2.42 下 0.37	上 1.82 下 1.20	上 1.92 下 1.64 (14日後)	上 1.56 下 1.13 (41日後)	0.15 (41日後)	
			施設 PBI=34日 (水)	上 0.45 下 0.05	上 0.21 下 0.11	上 0.19 下 0.14 (14日後)	上 0.14 下 0.11 (34日後)	—	
			露地 PBI=34日 (水)	上 0.45 下 0.05	上 0.25 下 0.12	上 0.32 下 0.24 (14日後)	上 0.29 下 0.191 (41日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

表 4-17-2 ポスカリド (平成 29 年度)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
宮城県農業・園芸総合研究所	カンタスドライフロアブル(50.0%) 1000倍, 300L/10a 1回	こまつな (きよすみ)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 1.48	上 0.94 (14日後)	上 0.57 (23日後)	0.08 (23日後)	40
			PHI=7日 (溶媒)	上 2.00	上 1.93	上 0.69 (14日後)	上 0.30 (23日後)	0.12 (23日後)	
			PHI=7日 (水)	上 0.30	—	—	—	—	
京都府農林水産技術センター	カンタスドライフロアブル(50.0%) 1000倍, 300L/10a 3回	こまつな (菜々美)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 2.08 下 0.02	上 3.56 (15日後)	上 3.52 (29日後)	0.08 (29日後)	40
			PHI=30日 (溶媒)	上 1.60	上 1.56 下 0.04	上 2.04 (15日後)	上 2.06 (29日後)	0.04 (29日後)	
徳島県立農林水産総合技術支援センター	カンタスドライフロアブル(50.0%) 1000倍, 300L/10a 3回	こまつな (よかった菜)	PHI=1日 (溶媒)	(同右)	上 1.83 下 1.90	上 1.74 (14日後)	上 1.46 (27日後)	0.12 (27日後)	40
			PHI=1日 (水)	(同右)	上 0.44	上 0.34 (14日後)	上 0.28 (27日後)	—	
			PHI=14日 (溶媒)	上 1.24	上 1.18 下 1.21	上 1.14 (14日後)	上 0.98 (27日後)	0.10 (27日後)	
			PHI=14日 (水)	上 0.36	上 0.26	上 0.24 (14日後)	上 0.18 (27日後)	—	

作付け時土壌濃度は、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。

—：測定未実施

表 4-18-1 メタラキシルM (平成 30 年度)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
秋田県農業試験場	ユニフォーム粒剤 (1.0%) 9kg/10a 1回	こまつな (なかまち)	施設 PBI=11日 (溶媒)	上 1.24	上 0.77 下 0.90	上 0.28 (15日後)	上 0.10 下 0.18 (34日後)	<0.01 (34日後)	1
			露地 PBI=11日 (溶媒)	上 1.62	上 0.34 下 0.36	上 0.06 (15日後)	上 0.02 下 0.02 (34日後)	<0.01 (34日後)	
長野県農業試験場	リドミルゴールド MZ水和剤(3.8%) 500倍, 300L/10a 1回	ほうれんそう (日本ほうれん そう)	施設 PBI=30日 (溶媒)	上 0.32	上 0.18 下 0.05	上 0.08 (15日後)	上 0.03 下 0.03 (37日後)	<0.01 (37日後)	2
			露地 PBI=30日 (溶媒)	上 0.32	上 0.04 下 0.04	上 0.02 (15日後)	上 0.01 下 0.01 (37日後)	<0.01 (37日後)	

表 4-18-2 メタラキシルM (平成 28 年度)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
長野県農業試験場	ユニフォーム粒剤 (1.0%) 6kg/10a 1回	ほうれんそう (PBI=1日)	オータム	上 1.20 下 0.23	—	0.10 (15日後)	上 0.01 下 0.01 (48日後)	0.01 (48日後)	2

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。  
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。